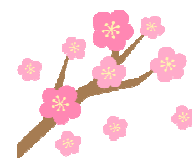




河野



みなさんこんにちは！令和4年最初の「住まいる通信」です。少々遅くなりましたが
皆様、本年もどうぞよろしくお祈りします。

上の写真は昨年と同じく、元旦の日の出を大竹市の晴海から撮影した写真です。天気予報では曇りの予報になっていたので、日の出が拝めることを余り期待せず早朝ウォーキングの歩き初めをするべく出かけましたら、写真のようなきれいな日の出を拝むことができた次第です。コロナがなかなか終焉しないことや昨年末に伊藤君の急逝などありましたので、例年以上に拝む手に力が入ってしまいました。前号で伊藤君の急逝の事を書かせていただきましたら、たくさんの方から驚きとお悔やみのお言葉をいただき、文面で恐縮ですが、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の11月に私も65歳を迎え、高齢者の仲間入りをさせていただきました。年末の押し迫った27日突然左耳が塞がったようで聞こえにくくなり、耳鳴りもひどいので耳鼻科に行くと「紹介状を書くから明日廿日市の広島総合病院に行きなさい」と言われ、翌日広島総合病院で診てもらおうと“突発性難聴”との診断。有難いことに薬をもらって数日で症状は改善しましたが、原因はストレスなどのようです。高齢者の仲間入りをした途端でしたので、改めてこれまでのようにはできない体になったと教えられました。

新しい年を迎える度に、皆一つづつ年を重ねることとなりますが、大竹店の里さんは今年の一月中でいよいよ後期高齢者目前となります。毎日修理などの作業に追われ、夕方のしんどそうな姿を見ると、無理せず長く働いてもらえる働き方に変えなくてはと考えさせられます。時に働き方改革花盛りですので、里さんだけでなく、皆が長く働ける会社へと進化するためにも、会社自体が健全経営を継続し続けなくてはなりません。そのためには皆さんとの関係をしっかりとすることが一番だと思うのですが、コロナ禍で催しなどができず、皆さんとどうやってつながりを維持して行けばいいのか苦慮しております。近頃話題のSNSとか言われますが、何をどうしたら良いのかチンプンカンプン……。

まあ出来もしないことに取り組むよりは、今年もこの住まいる通信をしっかりと読んでいただくことだと思い、頑張ってお送りさせていただきますので、本年もどうぞよろしくお祈りします。(啓)

<近況報告：令和4年年頭の抱負>

毎年恒例、仕事始めの日に新年の抱負を話してもらいました。順不同でご紹介！

注：()は私のコメント

(本社)

里：“温故知新”と“情熱の維持！”(情熱の維持！素晴らしい！)

西村：今年の前半は3月11日の健康診断に狙いを定め、ウォーキングとジョギングをします。昼休みを利用して歩こうと思います。1級建築施工管理技士の一次試験が6月、二次が10月です。合格を目指して頑張ります。(合格あるのみじゃね！)

河野(大)：今年は仕事に加え大竹青年会議所の理事長を務めることになり、目まぐるしい1年間になると思っています。昨年は体調面でも崩すことがあったことから、何事に於いても遠慮近憂を念頭に行動していこうと思います。

(遠慮近憂とは難しいお言葉・・・体に気を付けて頑張ってください！)

津田：できる範囲で修理を覚える。(里さんの負担を減らすためにも頑張ってください！)

河野(育)：元気であること！がんばり過ぎずがんばること！「知・好・楽」を目指して余生を過ごしたい。

(もう余生？早くない？)

向井：昨年末から、喘息→中耳炎→ぎっくり腰→ヘルニア発覚と怒涛の不健康ラッシュだったので今年は、「動く」事を目標として、身体を動かして健康に過ごしたいと思います。(健康が一番！)

河野(清)：うちの小学生も、春になればあと一人。サッカーの送迎や応援に行けるのもあと3年。しっかり応援してあげたいです。長男が受験生になるので、その見守りサポートもしてあげたいです。自分はウォーキングをしっかりと続けていきたいのと、今年絶対ディズニーランドに行きます！！(私もディズニーに行きたい！)

(廿日市店)

宮本：1.仕事 早く帰る！です。生産性あげて効率よく仕事してさっさと帰る。(大賛成！)

2.個人 趣味を作る 子供の野球やバスケットはコロナで見に行く機会が少ないと思うので何か趣味を探そうと思います。趣味スノーボーはもう無理です・・・(ん？それはまだ早い！)

中谷：今年2級福祉住環境コーディネーター及び2級電気工事士の資格試験に合格できるよう努力したいと思います。

あ！！今年私事ではありますが皆様に良い報告ができればなと思います！(何の報告か気になります！ひょっとして結婚？)

P.S 1年半前から釣りを始めた初心者にも関わらず、釣り道具を買いすぎておりますので今年は改めようと思います。

竹内：兎に角コロナの感染しないよう、健康にすごす。(シンプルな抱負がイイね！)

山中：家族と自分の健康を第一に考え、昨年末からはじめたトレーニングに真面目に行くこと、また趣味(オーケストラ、ピアノ、フラワーアレンジ)と家事と親孝行をバランス良く楽しみたいと思います。(趣味が多彩！)

(農閑期で毎日アルバイトに来ているので特別参加)

太田：昨年新築した自宅の庭まわり(花壇・畑のブロック工事)を今年中に完成させる！

願望ですが、コロナが早く収束して米価が上がって欲しい！

(農家にとって米価は切実だね！ゲイナンハウスの仕事もしっかりお祈りします！)

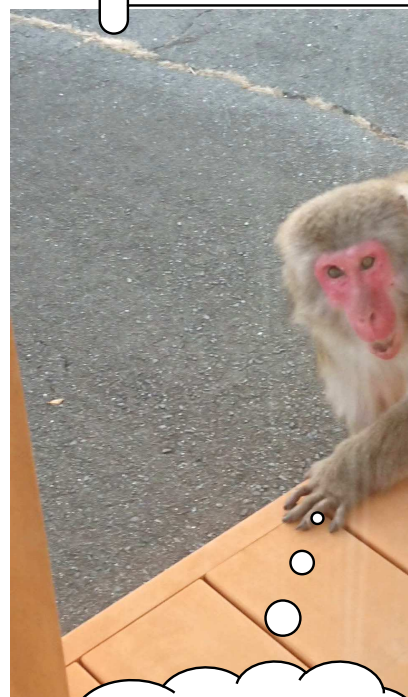
河野(啓)：皆、健康の事ややりたい事など書いてくれました。是非実行してくださいね。

さて、今年年頭に書いた文字が“確”です。冒頭に書きましたように“確実”に老いが進んでいること。そして、昨年末の伊藤君の急逝から“確”かなものは無いと言う事。この事から、わが身においても社内においても何が起こっても不思議ではないという思いを持って、コロナ禍に負けないよう一つ一つを“確実”に行うことを本年の抱負とさせていただきます。(啓)

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は4月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



廿日市店 サル襲来！！

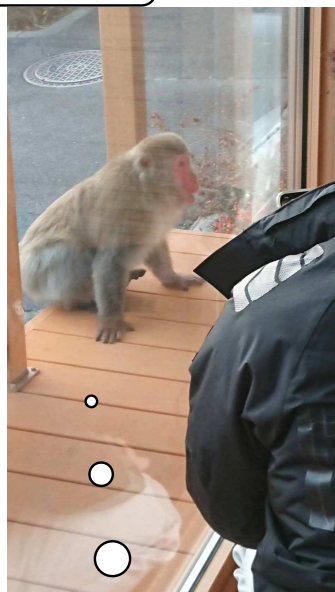


年末の12月23日、廿日市店の駐車場で中谷君が車の片付けをしていたところ、突然サルが現れ威嚇されたので、事務所の中に逃げ込んだものの、サルは写真のように事務所前のウッドデッキから、事務所の中の中谷君を威嚇したとの事。しばらくして立ち去ったとの事ですが「めっちゃ怖かった〜！」と中谷君。私もこれまでに、廿日市事務所より下の道路を数匹のサルが移動しているのを見てびっくりしたことがあります。事務所に来て威嚇するとは驚きです。

廿日市市のホームページにサルの事が書いてあり、このサルの人なれレベルは5段階の“4”で「人家周辺を徘徊するようになり、簡単には逃げない。人を威嚇する場合も出てくる。」のようです。

いずれにしても、宮園団地でエサが手に入るので彼らもやって来る訳ですから、彼らのエサとなるような食べ物や残飯などを外に置かないようにすることと、皆でサルを追い払う事をして、サルが来たくなくなるようにするしかないとの事。

サルも山は住みにくいんですね・・・(啓)



店の中に食べ物はないか物色中！

室内の中谷君を威嚇してます！

進む“(仮称)S美術館”建設

ご存じの方も多いかと思いますが、大竹市晴海にあるパワー・コメリさん・トライアルさんの海側で美術館の建設が進んでいます。毎朝のウォーキングの際に進捗具合を晴海公園の展望台から定点観測して、勝手に完成を待ち望んでいる一人です。設計は有名な建築家である坂茂氏ですので、どんな美術館ができるのかこれまた勝手に期待で胸が膨らんでおります。この美術館を開設するのは広島に本社のある建築金物のメーカー丸井産業のオーナーが設立した財団法人下瀬美術館。

丸井産業さんのホームページによると、「七世大木平藏や四谷シモンの人形やエミール・ガレの工芸作品、ピサロやマティスの西洋絵画、小磯良平や梅原龍三郎、加山又造などの日本近代美術などを所蔵しています。フレンチレストランやヴィラも併設されます。」とのこと。

美術品に関しては、「聞いたこともあります・・・」程度の知識しかありませんが、地元で高名な美術品を鑑賞することができるのは嬉しい限りで、しかもフレンチレストランとヴィラも併設とのことですので、市外から沢山の方が来られ大竹の名所になればと期待です。開館は令和5年3月の予定とのことです。(啓)

注1)美術品の写真はホームページよりの引用です

注2)ヴィラとは一戸建ての宿泊施設



進行中の現場
まだ造成段階ですが、対岸の宮島を借景した美術館になるのでしょうか？



エミール・ガレ
《花瓶「フランスの薔薇」》
1897-1904年



七世大木平藏
《能人形 本狂「三番叟」
一尺六寸》
1978年以降

最近の施工事例から

バリアフリーで安全な寝室にリフォーム

“廊下との段差を無くして、室内にトイレを設置”

今回の事例は、80歳代の奥様の一人住まいのお宅です。

段差で転倒されたとの事で、和室の寝室に接した廊下・リビングとの段差を無くし、夜間に廊下を隔てたトイレに行かなくてもいいように、和室の床の間をトイレにしたいとのご相談をいただきました。築30年以上の一般的な住宅では、和室の床の高さは畳の厚み(約5cm)程高くなっています。また、洋間でもドアなどの建具の下部は敷居が入れられており、床面より15mm程度上がっています。これらの段差は加齢に伴ってつまづきやすくなり、転倒の原因となります。

そこで、段差改修として、和室の床を隣接する廊下・リビングの床に合わせ、仕上げも移動しやすいフローリングにしています。廊下・リビングとの建具はフラットレールを採用して段差を無くし、安全に移動できるようにしました。



着工前
廊下と和室の床は約5cmの段差がありました



施工後
和室の床を下げ、建具のレールをフラットレールにして段差を無くしました。リビングとの建具(右)も同様に移動しやすくなりました。



TOTOベッドサイドトイレ
ホースの届く範囲でしたら自由に移動できます

トイレについては、床の間をトイレにとのご相談を受けましたが、リフォームに相当な費用が掛かることから、汚物を粉砕して圧送することで自由に設置することのできるTOTOのベッドサイドトイレを採用しました。寝室に設置しましたので、寒い冬でも廊下に出ることなく安全にお使いいただける上に、水洗トイレですので臭いや汚物の処理の心配もありません。費用も工事費込みで50万円程度ですので、トイレを作る費用の半分程度と大掛かりな工事を伴わないので、短期間で設置することができます。



高齢者にとっては、トイレがベッドから4m以上離れると遠く感ずると言われています。また、今時分のように寒いシーズンでは夜間に暖房されていない廊下やトイレに行くことは転倒のみならず、温度差での危険も伴います。お風呂の話ですが、昨年お風呂場でヒートショックによって亡くなられた方は1万9千人に上ると書かれていましたので、段差のバリアーのみならず、室温のバリアーも解決できる、お勧めしたいリフォームです。実は私も夜間に一度はトイレに行くようになってきましたので、他人ごとではありません。(啓)